



宮城県古川高等学校 同窓会報



第71回秋季東北地区高校野球大会

昨秋、我々野球部は秋季高校野球北部地区大会一回戦岩ヶ崎高校との試合で敗戦という形で新チームの公式戦のスタートとなった。力を出し切れず敗れたその日、やり直しの本音のミーティングからチームの快進撃が始まった。地区大会の結果は以下の通りである。

敗者復活二回戦
古川高校 1対2 岩ヶ崎高校
一回戦 古川高校 5対2 古川黎明高校
敗者復活代表決定戦
古川高校 5対0 中新田高校
まだまだ力不足ではあったが、バッテリを中心に少しずつではあるが力を出し始め、県大会出場を決めた。

第七十一回秋季高校野球宮城県大会
一回戦 古川高校 5対0 松島高校
県大会初戦は好投手を擁する松島高校の壁を越えればチームが浮上するであろうという予感があった。Koboball宮城(現楽天命パーク宮城)で行われた初戦は主戦投手千坂の好投と少ないチャンスを確実に生かす打撃で快勝することができた。

二回戦 古川高校 6対3 東北学院
二回戦の相手はこの夏に延長戦で敗れた東北学院であった。もちろん選手たちにとつてこの一戦は特別な意味を持ち、ともに戦った三年生の悔しい思いも背負って戦うゲームとなった。終盤突き放すも、最終回の相手の粘り強い攻撃をかわし辛くも勝利することができた。

準々決勝 古川高校 4対3 東北高校
準々決勝の相手は仙台育英と並び宮城の高校野球を常にリードしてきた東北高校。エース千坂の好投で中盤を一点のリードで折り返すも、六回に二点を失い、逆転を許す苦しい展開となった。しかし、七回に主将の高橋寛太の逆転のツーベースヒットと八回のスクイズで追加点を取り、二十九年ぶりのベスト4進出を決めた。

準決勝 古川高校 4対0 大崎中央高校
初回、二回と一点ずつを奪い、優位に試合を進め、千坂の好投と九回のダメ押しで、五十七年ぶりの東北大会出場を決めた。

決勝 古川高校 3対17 仙台育英
六十五年ぶりの決勝の舞台に立つ古川高校、先発はここまで地区大会、県大会全七試合を一人でマウンドを守ってきた主戦千坂。初回に二点を失う苦しい展開も、三回に二死からの四連打で逆転に成功し、応援に来て下さった多くの方々で埋まるスタンドを大いに沸かせた。しかし、見せる千坂はここまでで、連投の疲れを見せる千坂に仙台育英打線が襲いかかり、守備の乱れもあり、3対17の大敗で準優勝という結果に終わった。

県大会であつた守備面での課題を克服するために守備練習を重点的に行い、秋田県で開催される秋季東北地区高校野球大会に宮城県の第二代表として参戦した。雨で順延となったこまちスタジアムでの開会式を終え、翌日に八橋球場で行われた青森第2代表の弘前東高校との闘いに挑んだ。

第七十一回秋季東北地区高校野球大会
二回戦 古川高校 4対3 弘前東
試合は初回に一点先制するものの、すぐに追いつかれるという、どちらに転ぶか分からない展開。2対2で迎えた八回に一点勝ち越し、勝利が見えかけるも、九回に追いつかれ、同点となり延長戦に入る。延長十回裏サヨナラ押し出しで、劇的勝利をつかみ準々決勝に駒を進める。

準々決勝 古川高校 3対1 秋田修英
秋田第一代表の秋田修英との一戦。三回に幸先良く一点先制するも、直後の四回に幸先良く一点先制される。その後、両回表にすぐに追いつかれる。その後、両投手が好投を見せ、終盤に突入した。八回裏ランナー二塁からレフト前ヒットを打つも、本塁タッチアウト。チャンスをつぶしたかに見えたが、審判が三塁手の守備妨害をとり、熱戦に終止符を打った。ここまで二試合、主戦千坂の好投と大会前に鍛えた守備力でノーエラーを続け、ベスト4進出。次の試合に勝てば甲子園が見えてくる準決勝へと駒を進めることができた。

**ホームページを
開設します**

アドレスは以下の通りです。
7月中旬以降に開設する予定です。
多くの方のアクセスをお待ちしております。
<http://furuko-doso.com>

量五点を失いペースをつかむ間もなく、試合が進む。その後も追加点を許し、六回コールド負けで、東北大会を悔しい敗戦で終えた。秋田県で開催された東北大会であつたが、平日であるにも関わらず、多くの方々が足を運んでくださり、現地で我々に力をくださった。残念ながら自力での甲子園の夢は叶わなかった。しかし、その後、二十一年紀の有力候補として、その可能性を残し冬を過ごした。平成三十一年一月二十五日、多くの報道陣に囲まれ、悲願達成を夢見て多くの同窓生が集まる中その発表は行われた。結果は落選。初めの甲子園出場は叶わなかった。悔しさを胸にひと冬を越え、春季高校野球宮城県大会準々決勝で仙台育英と再戦し、2対6の敗戦となったが、成長を感じられる内容であり、夏までの課題も見えた。大変意味のある一戦となった。選手一同、夏への手応えを確実に感じ取ることで、第五シードで迎える最後の夏で完全燃焼できるように、課題の克服に全力を挙げたいと考えている。今年の夏こそはこれまで熱い声援を送り続けてくださった多くの方々と甲子園の舞台に立てるように、可能性を求め、最後の一日まで本気の努力を積み重ねていきますので、応援よろしく願います。

硬式野球部監督 茂泉 公己



会長 伊藤 貞 嘉 (昭和47年卒)

私の人生の大半は平成とともにありました。1999年に湾岸戦争が勃発した時に、私はまた日本に一時帰国するため空港にいたのですが、ブッシュ大統領はテレビに対しての戦争の正当性をテレビで訴えていました。一方、飛行機に乗っていると、イラクに派遣されたと思



校長

地区では、東日本大震災直後までの5年間、古川黎明高校に勤務しました。とはいえ、久々の古川での勤務となります。同窓生の方々からもご教示をいただきながら、視野を広くもつて学校運営に当たっていきたいと考えております。

さて、この冬は硬式野球部が

21世紀枠の東北地区代表校に選ばれ、同窓生のみなさまにもご期待いただきましたが、残念な

からこの期待に添う結果となりませんでした。しかし、部員たちは実力で夏を勝ち取るべく懸命に練習を重ねております。引き続きあたたかいご声援をお願いいたします。

告いたします。まずは昨年度の進路状況としては、東北大5名をはじめとする国公立大学7名を合格者を出すなど、例年とほぼ変わらぬ実績となりました。大学入試制度改革が進みつつある中、本校としても対応に遅れないよう適切な進路指導を進めていきたいと考えております。また、この4月には240名の新入生を迎えることができます。そして、去る4月23日に

は築館高校を会場として第60回の定期戦が行われました。入学式直後からの厳しい応援練習の成果もあり、本校は敵地において見事昨年の雪辱を果たすことができました。年度当初のこの

わたる意欲を大きく高めてくれるものと信じております。

社会の変化が目まぐるしい時代であり、その不透明さに生徒たちも不安を抱いている部分ではありますが、その変化に対応できる、これからの社会を牽引するしなやかで力強い人間を育成すべく、今後からも努力してまいります。これとも本校の発展のためにご助力を賜りますようよろしくお願いいたします。

中島良から議員になる前の若かりし頃、家業である農業に家族とともに従事していたときに出演したテレビ映像や自身のＮＰＯ法人活動の一環で初心である自分がミュージカルした出演した際のエピソードなどを紹介され、多くの人のつながりがいかに大切であるかを講演いただきました。中島氏の温厚で優しく、何事にも前向きな姿勢が伝わる講演となりました。講演の後に全員での記念写真撮影、懇親会と続き、最後は恒例の応援歌の大合唱、エールで盛会の内に幕を閉じました。

来年度の同窓会総会は８月１１日に今年度と同会場「グランド平成」での開催を予定しております。多くの会員の参加をよろしく願いたします。

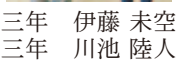
平成30年8月

一年 富永 理心
二年 熊谷 柁哉
三年 鎌田 潤

一年 富永 理心
二年 熊谷 柁哉
三年 鎌田 潤

渡邊奨学金

一、万円



三年	伊藤 未空
三年	川池 陸人

月步

この度は同窓会奨学選んでいただき本当にありがとうございます。このように有名である奨学生に選ばれたことを大変うれしく思います。これまでの成果を評価してくださった方々、私を支えてくださった方々に感謝いたします。

古川高校に入学して実感したの「質実剛健」の精神です。はちまき、裸足姿で

受験から新しい入試制度となる大学共通テストが始まり、不安や疑問の声が高まっていきますが、入試の内容では今まで通り高校の内容であることに変わりはないのでこの不安や緊張に打ち負かせるほど勉強を続けていきたいと思っています。今回奨学生に選ばれたことは私にとって大きな励みになりました。

今後は選べたことを糧として努力を続けながら、決して自分の力を過信せず、常にやる気や向上心をといて、強い前向きな姿勢で進路を実現したいと思います。

るべ

この度は、三川高校同窓会
三年生組 謙田 潤
奨学生に選ばれたこと、
本当にありがとうございます。
この二年間の努力が、評
価されたことをうれしく思
います。このような名誉あ
る奨学生に選ばれたことを
光栄に感じるとともに、よ
り一層、学業に専念してい
こうという思いです。
三年生となり、所属して
いる総合科学部化学班での
活動も、入り初め、かたじけ
なく勉強に熱心に取り組ん
でいる先輩方の姿を見てあ
るを持ち、その姿に近づけ
るよう他の部員とともに部
活に励んで勉強しました。部
活に化学を勉強する。部活
の先生方、先輩方、顧問の
先生方にたくさん指導し

この度は古川高校同窓会奨学生に選んでいただきました。本当にありがとうございます。当初で知らせを受けたときは驚きでいっぱいでしたが、今まで支えてくれた家族に対して恩返しができたことをとてもうれしく思っています。私たちが2年生は今後の進路について具体的に考えなければならぬその進路達成に向けて勉強に励む必要があらわれます。また、私たちの世代

先輩の方が目標にこれまで頑張ることができました。今後は、進路目標の達成に向けて大切な時期になつてきました。部活を通して学んだことを引退後も忘れることなく目標に向かって努力していきなさいです。

この度同窓会奨学生に選ばれたことは、これまでの努力の証明になりました。これからの自信となりました。これからも、支えとなる周りの

平成三十年度「雪章」受賞者

蜜雪章とは、年度ごとに、各種活動で全国大会出場もしくは同等の成績を上げた生徒に贈られる賞で、毎年卒業式（1・2年生は前日）に全校生徒の前で学校長より校章を記した「蜜雪の盾」が授与されるものである。

◎第42回全国高等学校総合文化祭文芸部門（俳句）
 宮城県代表 佐々木太慈

◎第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体
 少年男子ソフトボール競技 第3位入賞 高橋 亮作
 少年男子ソフトボール大会 福井しあわせ元気国体 梁川 大空
 ◎全国高等学校陸上競技選拔大会 女子3000M 奥山 小冬

◎第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体
 少年男子ソフトボール競技 第3位入賞 早坂 佳将
 少年男子ソフトボール大会 福井しあわせ元気国体 木田 真風
 ◎第33回全国高等学校文芸コンクール 短歌部門 第3位入賞 高橋 梨咲

◎第68回全国高等学校スキー大会 クロスカントリー競技出場 高橋 希空

◎受賞者
前生徒会長 早坂 峻輔
前応援団長 今野 壮琉

◎受賞者
前生徒会長 早坂 峻輔
前応援団長 今野 壮琉

【東京蚩雪賞】

思いのほか、顧問の先生や先輩の丁寧な指導と適度な重圧のおかげで、特に理系教科、特に化学は力を入れてきたつもりです。現在の進路目標である地学に触れることができたのも、科学部での活動の中でのことでした。とても楽しく、充実した活動と思い出を作ることができたこと、共に問題を解決しようとしてくれた部員たちの皆さんには、とても感謝しています。

今後ともこの感謝を忘れず、進路達成に向けて学業に邁進していくと思います。有難うございました。

文『文』西道

と昇華させ、お世話になった方々へ恩返しが出来ようように努力して参りたいと思います。奨学金授与式の際に、渡邊義之顧問が話された言葉に感銘を受けました。お話を要約した通り、模試やテストの結果に一喜一憂せず、「第一志望合格」という目標だけに焦点を合わせ、日々邁進していきなさいと思います。改めて、このような名誉ある奨学生に選抜していただきありがとうございます。

設備が充実しています。それだけでなく、先生方は生徒の質問や相談を親身になさって聞いてくださり、それによって生徒自ら勉強しようとする雰囲気作りができています。私もその恩恵を十分に利用させて頂き、有難いことだと思っています。

私は総合科学部化学班に属しており、引退の文化祭まで残り一か月余りとなりました。運動部よりは楽な活動だったかもしれませんが、

古高同窓会 平成30年度 会計決算書・令和元年度 予算書

I 一般会計

平成31年度	収入決算額	4,084,939円	令和元年度	収入予算額	4,000,000円
	支出決算額	3,774,536円		支出予算額	4,000,000円
	差引残高	310,403円 (次年度へ繰越)		差引残高	0円

1. 収入の部

項 目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	比較増減	摘 要
繰越金	258,433	258,433	0	
年会費	2,400,000	2,380,000	▲ 356,000	2,000円×1190名(昨年1122名) (過年度分納入者13名分含む)
入会金	717,000	717,000	9,000	3年生(239名×3,000円)
総会会費	560,000	692,000	217,000	4,000円×148名(昨年176名) 祝儀
雑収入	14,567	37,506	▲ 26,165	貯金利子、祝儀、記念誌販売、寄付
計	3,950,000	4,084,939	134,939	

2. 支出の部

項 目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	比較増減	摘 要
運営費	1,750,000	1,782,275	32,275	
消耗費	80,000	56,730	▲ 23,270	事務用品
通信費	80,000	81,540	1,540	はがき、切手など
旅費	400,000	452,850	52,850	支部同窓会への旅費
慶弔費	30,000	22,192	▲ 7,808	生花・弔電代
会議費	400,000	428,855	28,855	支部同窓会への祝儀、 役員会経費
総会経費	680,000	654,032	▲ 25,968	会食費及び控室代等含む
広告費	80,000	86,076	6,076	新聞広告掲載代
事業費	2,080,000	1,992,261	▲ 87,739	
記念品	220,000	215,589	▲ 4,411	卒業証書ホルダー、 重宝バッチ
奨学金	360,000	360,000	0	60,000円×3名×2(前期、後期)
助成金	300,000	200,000	▲ 100,000	生徒会活動費補助
会報発行	1,100,000	1,059,935	▲ 40,065	会報112号印刷費(8000部、207,360円) 郵送料(652,573円)
その他	100,000	156,737	56,737	会報管理代、会報発送手数料、データ処理代、 年会費手数料(156,237円)
予備費	120,000	0	▲ 120,000	
	120,000	0	▲ 120,000	
計	3,950,000	3,774,536	▲ 175,464	

II 特別会計

平成30年度決算		令和元年度予算	
繰越金	3,098,452円 (純繰越910,798円, 120周年寄付金2,187,654円)	繰越金	582,582円
収入決算額	84,014円 (CD立替金+利子14円)	収入予算額	0円 (利子)
支出決算額	2,599,884円 (エアコン2,495,664円, ホームページ104,220円)	支出予算額	0円
差引残高	582,582円 (次年度へ繰越)	差引残高	582,582円

平成31年2月28日(木)卒業式の前日に、卒業式の準備がすっかり整った体育館において、毎年恒例の同窓会入会式が行われました。同窓会活動の説明と歓迎の言葉を頂き、クラス幹事の紹介、同窓会からの記念品贈呈という流れで、今年度も卒業生の意見交換会の時間が設けられました。佐藤茂樹副会長より、歓迎の言葉として「同窓会は、母校後輩のため、それぞれの集まりの中での親交と絆を深めるために活動しております」というお話がありました。意見交換会の中でも、「若い先輩方も、同窓会活動に積極的に参加し、同窓会の役員となつていく」ことも紹介されました。その上で、生徒たちが「同窓会とは具体的にどのような活動をしているのか」また、「同窓会にどのような印象を持っているか」などについて自由な意見を発言してもらいました。

生徒からは「同窓会は具体的にどのような活動をしているのか」「年輩の方々が中心に活動しているイメージがある」など率直な意見が出されました。佐藤茂樹副会長からは、部活動補助金として毎年50万円が同窓会より支出されていること、同窓会奨学金の話为例に挙げ、皆さんの活動を応援するのが同窓会の仕事であることを強調されました。また、同窓会は宮城県だけではなく、在京同窓会といった東京方面での古高同窓会もある等、全国各地でも活動しているとお話もありました。

生徒たちにとって、同窓会の具体的な活動内容を聞くことにより、同窓会というものをどのような受けとめてくれたでしょうか?今後、更に同窓会活動内容を広げ、このような機会に同窓会とは何かということを生徒たちに伝え、古高OBが現役古高生のために支援していることを理解して頂ければと思います。



平成30年度 同窓会入会式

「同窓生となるに向けて、積極的な意見が飛び交う卒業生主役の入会式」



◎受賞者 加藤 千聖 高橋 諒

【仙台螢雪賞】
三力年の本校
在学中、学業
成績ならびに生活
全般において、
特に模範的だっ
た生徒を称える
と共に、後輩生
徒の道しるべと
なるよう、本校
在仙同窓会から
授与するもの。

感謝の言葉

この度は、東京螢雪賞という素晴らしい賞を頂戴し、とても光栄に思います。本当にありがとうございました。

私は一年生から生徒会執行部に所属しておりました。一年間で様々なことを経験し、二年生の夏に自らのリーダーシップの向上し、地域貢献を学ぶために、三週間アメリカへ研修に行つて参りました。そこでの学びを活かすため、生徒会長に立候補致しました。会長就任後は、古高と地域の繋がりをより深めるために、執行部員の協力という新たなイベントを開きました。文化祭という新たなイベントの開催もありませんでした。生徒会執行部としての活動はありませんでした。古高を含めた近隣の高校生が地域と交流するきっかけをつくることにできたと思っています。

私は高校入学以前から教師になりたいと思っていました。古川高校で素晴らしい先生方と囲まれて生活したことで、この想いはより強くなりました。大学では、地域を利用した教育方法や海外で実践されている教育方法について教員を目指してまいります。

感謝

この度は古川高校の卒業式にご出席頂き、また東京螢雪賞を贈呈して頂き誠にありがとうございます。

私たちは3年間という長く苦しい、しかし短く楽しく感じられる高校生活を送り、成長し、大学、専門学校、就職などそれぞれが自らの道を進むことになりました。将来の不安を抱える未熟者の我々ですが、これからもお力添えをいただけたと幸いです。

私はこの3年間で様々な人々と交流してきました。その交流を通して、世の中について、人間関係について学ぶ場面が多々ありました。その中で、仲間や友人の大切さを深く心に刻みました。もしも一度場があるのであれば、感謝申し上げたいと思います。

私たち古川高校71回生は2万を超える先輩方の背を見て、追い抜くべく、多種多様の知識を身につけ、これから社会に加わり、社会

前応援団長 今野 壮 琉

を変革すると私は信じております。
最後になりますが、これまで支援してくださった家族、先生方に感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。これまで本当にありがとうございました。

「感謝」

この度は、仙台螢雪賞という素晴らしい賞をいただき、非常に光栄に思います。私がこのような名誉ある賞の受賞を初めて何ったことは、大変驚きました。それと同時に三年間の私の学業・部活動・生徒会活動における努力が評価されたことをとても嬉しく思います。

古川高校での三年間は楽しく、充実して、古高という間に過ぎ去ってしまいました。そして、私の周りにはどんな時も私を支えてくれる人達がいました。その人達がいたからこそ、私は何事にも一生懸命に取り組み、元気で明るく毎日を送ることができたのだと思っています。

これから先、私の目の前には多くの壁が立ち、これはだることでしよう。しかし、古川高校での経験とたくさんの出会い、壁を乗り越える原動力になると信じています。長いようで短い三年間を歴史ある古川高校で過ごしたという大きな誇りと自信を胸に、私はこれから新たな舞台で前進していきます。三年間私のことを支えてくださった方々に感謝いたします。そして、これからの古川高校のますますのご発展を心から祈っております。

加藤 千聖

「感謝」

この度は、仙台螢雪賞という名誉ある賞に選ばいただき、大変嬉しく思うと同時に、今まで私を支えてくださった方々に改めて感謝申し上げます。

私が古川高校に入学した時に立てた目標は、文武両道でした。勉強面では、平日は空いた時間を有効活用し、休日でも登校して勉強に励み、部活動としてインターハイに出場すること、スキー部としてインターハイに出場すること、私ができること、このように賞をいただくことは、私に大きな励みになりました。毎日支えてくれた家族や、辛い時に励ましたくれたクラスや部活動の仲間、成績が伸び悩んだ時に相談に乗ってくれた先生方のお陰であると感じています。

私の周りには、この賞に匹敵する実力を持ち、私よりも努力を重ねていた人がたくさんいます。そのような友人と高みを目指して切磋琢磨し合えたことも、私が成長できた一つの要因になったと感じています。

これからは古川高校の卒業生として、また仙台螢雪賞受賞者としての誇りを胸に、一隅を照らす人になれるよう、感謝の気持ちを忘れずにより一層精進して参りたいと思います。本当にありがとうございました。

高橋 諒

第六十回定期戦

～昨年度の
屈辱を果たす～

「いざ出陣、築館高校へ」昨年の屈辱を果たそうと応援団、生徒会、選手達の意気込みが昨年以上に増している。

去る四月二十三日(火)に対築館高校との第六十回鷹旗定期戦が行われました。本年度のテーマは「開天闢地」道風を更始へ新たな伊吹の始まりと題して築館高校を会場に行われました。

応援団長の定期戦の意義が述べられていました。「古高生諸君、普通に戦えば勝てるから大丈夫」この言葉に聞き覚えはないか。実際に言ったという記憶はないか。昨年はこの言葉がよく聞かれ、古高生全体が心のどこかで油断していた。そして、あの屈辱的な敗北を期したのである。猿どもが喜ぶ声、古高の図南歌は耳にも心にも残っている。今年は全員で凱歌を大きな声で歌い、笑って勝利を喜び分かち合おう。勝利再び。我が胸に、闘魂燃やし「戦わん」生徒会長の言葉です。

「敗北から一年。この時を何度待ち侘びたことだろう。か。今に至るまで先代が守り続けてきたもの、それは「古高の誇り」である。この誇りにかけ、我々は絶対に負けることのできない大一番、必ず勝利する。志半ばで打ち砕かれた我らの偉業への道は決して楽なものではなかった。先代の思いを背負い、我らは戦場へ立つ。我等がすべきは誇りを持ち、一丸となつて最後まで戦い抜くことである。そしてまた、我々は前進する。」応援団長の言葉です。

晴天に恵まれ、定期戦の絶好日和で、両校の凄まじい応援合戦を皮切りに十五種目における競技で熱戦が繰り広げられました。築館高校は二連覇を目指し、また古川高校は昨年度の敗北の無念を晴らすようと、両校一歩も譲ろうとしない熱気溢れる戦いでした。

結果、十一勝四敗と見事に昨年の屈辱を大きく果たした勝利でした。来年度は、今回の勝利に自身を持ち、築館高校を決して侮るこなく、必す二連覇し、ホームムゲラウンド古川高校で古高凱歌を歌えることを信じてやまない。(通算成績は四十一勝十六敗三分)

定期戦対戦結果

種 目	点 数	勝 敗	種 目	点 数	勝 敗
	古高-築館			古高-築館	
野 球	5-3	○	剣 道	4-0	○
サ ッ カ ー	3-1	○	男子バドミントン	1-4	×
男子バスケット	60-54	○	女子バドミントン	2-3	×
女子バスケット	73-32	○	男子テニス	2-1	○
男子バレー	2-0	○	女子テニス	0-3	×
女子バレー	2-0	○	綱引き男子	2-0	○
男子卓球	4-1	○	綱引き女子	0-2	×
女子卓球	3-2	○		11勝4敗	

野球部

古川高校野球部主将 高橋 寛太

今年の春季県大会は私たちにとって本当に悔しい結果となつてしまいました。北部地区大会では準優勝に終わり、攻守において相手チームとの差を見せつけられ、これが高いレベルの野球なんだと実感しました。北部地区大会が終わり、県大会初戦までの期間、また全員で一心に練習に取り組み、地区大会よりも打撃の質は上がったものの、仙台育英に負けて県ベスト8止まりとなつてしまいました。昨秋の結果と比べてもさすがに不甲斐なきを実感しています。

もう私たちが目指すべき焦点は夏の選手権大会のみです。この冬悔しい思いをし、甲子園出場をずっと胸に抱きながら苦しい練習を乗り越えてきました。私たちの目標を達成して、今までたくさんご支援をしてくださった方々に良い報告ができるように、古高の最



大の武器である「声」の力を存分に発揮して、全員で必ず甲子園に行きます。応援よろしくお願いします。お話ししたいです。

支部だより

関西螢雪会

会長 高橋 達也
(昭和47年卒・高24回)
関西螢雪会は例年大阪で11月下旬か12月上旬に定期総会を開催しています。主に大阪、兵庫、岡山、京都、奈良に在住されている卒業生を中心に活動しています。昨年は12月上旬に開催しました。母校より佐々木源同窓会副会長さま、金 和宏校長先生、事務局長の遠藤 直樹先生のご出席を賜り全体で20名弱の出席でしたが盛会に終えることができました。今年は新天皇の即位に伴い新たな時代「令和」を迎え気が引き締まる思いです。これからも支部として変わらなく母校とのつながりを大切にし卒業生の方々と連携をとり活動していきたいと思っています。今年の総会の日程はこれから皆さんと相談の上決める予定にしています。最後にありますが今年の関西螢雪会の役員を紹介させていただきます。

会長 高橋 達也
(昭和47年卒・高24回)
副会長 松浦 清
(昭和53年卒・高30回)
事務局長 佐藤 文博
(平成11年卒・高51回)
副会長兼

在京古高同窓会

事務局長 佐々木 恭次
(昭和38年卒・高15回)
昨年1年間の主な活動をお知らせします。
昨年6月30日(土) 総会(上野精養軒)にて、昭45年卒(第22回) 荒川忠一氏(東大名誉教授、京都大学特任教授) から「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」の演題で講演をいただきました。世界風力エネルギー学会の副会長も務められ、忙しい中専門外の同窓生にも理解し易いように写真や図表で、日本の実情を海外と対比しながら、原発に替わる位置づけを教えて貰いました。今後の尚一層の活躍を期待してやみません。
10月20日(土) 江戸・東京探訪ツアーを開催し、今年は横須賀へ遠出しました。本部、在仙同窓会有志はもとより、古川黎明、古川学園、岩出山高同窓生の方々も加わり、総勢18人参加でした。世界の三大記念艦として復元した「記念艦三笠」の艦内を探訪しながら司馬遼太郎著「坂の上の雲」を思い出しながら、当時の日本海戦の歴史を振り返りました。中華街に移動して、懇親会を催し、尺八演奏も加わり、楽しい交流の場がひろがりました。今年は2年振りにふるさと探訪ツアー実施予定で、地元の世界農業遺産や大崎氏の史跡を探訪予定であります。是非ご参加ください。
今年1月30日上野精養軒



での旧四校合同新年会は、総勢209名(古高63名)の出席を得て、現役古川工業高校生の若さ溢れる「ダンス・ダンス・ダンス」公演を見ながら、皆さん自分の若かりし頃を思い出した方々が多かったかと思えます。
例年のことながら、若い世代の出席者が少なかったのは残念であり、今後の課題です。

在仙同窓会

幹事長 齋藤 修正
(昭和60年卒・高37回)
令和元年5月11日(土)パレス宮城野で開催された平成31年度在仙古高同窓会定時総会・懇親会のご報告をいたします。
古川高校校長・澁谷貴彦様、古高同窓会副会長・佐々木源様、事務局長・遠藤直樹様、前会長・渡辺義之様、在京古高同窓会長・鹿野軍勝様、事務局長・佐々木恭次様、幹事・佐々木昭美様、県庁古高同窓会名誉会長・佐野好昭様、会長・峯浦康宏様、幹事長・鎌田光昭様を来賓に迎え、参加者総勢55名にて大盛會に終了することができました。



経済界・弁護士会と多方面に於いて活躍されていることに誇りを感じました。加えて、母校に対する「思い」をいづまでも大切にされていく多くの参加者とそれを共有

できる喜びを感じました。懇親会の終わりに歌われる応援歌は、古川高校同窓会渡辺前会長の音頭で全員声高らかに合唱することが恒例ですが、何十年も前に皆覚えた応援歌を世代を超えて忘れずに歌えることが母校への「思い」を象徴しています。
令和1年度定期総会・懇親会は大盛會のうちに終了しました。
また、来年も皆様にお会いできることを楽しみにしております。

県庁同窓会

幹事長 鎌田 光昭
(昭和61年卒・高38回)
県庁古高同窓会は会員数400余名を擁し、県庁内でもその会員数の多さ、そして若い職員から幹部職員まで本当に一体感の取れた唯一無二の同窓会組織と自負しています。これも偏に既にOBとなられた方々を含む諸先輩方の御努力によるものと感謝しているところであります。
本同窓会の主な活動は毎年恒例の総会があげられます。平成30年度は11月9日(金)に、金 和宏校長、母校出身県議会議員や諸先輩方の御臨席を賜り、総勢85名が集い盛大に開催することができました。恒例の校歌斉唱に始まり、峯浦康宏会長の挨拶、高橋英文本部同窓会副会長から御祝辞を賜り、宴の流れに合わせ、金校長から現役生の進路状況や部活動等での活躍ぶりなどを御紹介いただきました。

教職員螢雪会

幹事長 佐々木 伸
(昭和60年卒・高37回)
平成30年(11月10日(土))記念講演「企業存続に向けて求められる人材」株式会社 宮城交通 代表取締役社長 青沼 正喜氏
出身は古川で数玉小学校、協和中学、古川高校、東北学院大へと進出し、名古屋鉄道に就職。出向で東京の観光バス会社、後に名古屋



鉄道に就職。その後宮城に戻り、蔵王えぼしスキー場の支配人。平成16年から宮城交通。

加美町支部

事務局長 諸岡 敏博
(昭和46年卒・高23回)

平成30年度加美町支部総会はゲストに実力派クラリネット奏者の浅野優治さん(昭和40年卒)をお迎えして8月25日「J-Aよつば館」で開催しました。出席者は昭和29年から平成4年卒までの41名。母校からは加賀谷教頭、富田先生のお二人に参加いただきました。総会は演奏中でも会話OKのムード音楽の流れる懇親の場となりました。
今年は地区生徒会「成徳団(明治32年1899年)」



宮城交通は昭和45年に誕生。当時、宮城交通の歴史はストの歴史で、仙台の人は働かないという評判を変えていかないと東北の発展はないと考え、宮城交通に就職を希望したが採用予定がないと断られ、親会社の名古屋鉄道に入社。
宮城交通の社長に就任後、目指すところは将来にわたる従業員の幸福と地域の発展。そのため人材を育成するためのキャリア制度を作った。会社側から見た期待する人材は、枠の大きさを変えられる。高い倫理観をもつ人材。今は具体的な指示をできるだけ減らし、気づきの訓練をしている。
しかし、これからAIが普及し将来必要とされるのは、新たなルールを作り変える人材。もう一つは高い倫理観を持つ人材。今後世の中の変化がますます速くなり、法律がますますいけなくなる。判断基準は高い倫理観。もう一つ加えるのであれば人を思いやる心。先生方にお願ひ。資質のある子どもには小さいとき

色麻支部

事務局 山吹 昭典
(昭和49年卒・高26回)

「雲井に晴るる船ヶ岳」古高校歌の一節にある船形山の眼下に広がる色麻町。愛宕山公園から臨む四季折々の景色は、春から初夏にかけて桜、芍薬、紫陽花、秋には黄金色に頭を垂れる稲穂が一面に、冬は船形山の雪景色と、故郷(ふるさと)という安堵感を漂わせるに相応しい風光明媚な光景が広がる町です。
色麻を離れた同窓生の皆さんが、いつでも気軽に帰れるようにと故郷を大切に守っている同窓生は町内に数多くいる。同窓会色麻支部の総会は毎年8月に開催。ふるさと色麻が大好きな同窓士が集い、幼い頃から高校時代の話、経済、社会、教育情勢など話題が膨らむ時事放談が繰り広げられる。そんな堅い話を和らげてく



の節目の年でもある。長年お世話をしている高橋啓団長に敬意を表するものである。さて、同窓会旗を年1回だけ使うのはもったいないと考え、高校前期試験の日に国道347号沿いのお宅にお願ひして受験生激励のため旗を張らせていただきました。来年は1回の試験にやるのとこまた張りますよ。30年度総会は初参加の方もたくさんいました。女性

三本木支部(ホーム会)

会計 伊東 仁
(昭和48年卒・高25回)

古川高校同窓会三本木支部(ホーム会)は2012年に再開してから毎年6月に支部総会を開催しています。鈴木支部長のもと平成に卒業した若者(?)も参加できる支部総会にしてきました。さて、平成30年の秋といえば、古川高校の野球部が大活躍、センバツも視野に入りました。結果は残念でしたが、今後の野球部の活躍に期待いたします。

私事になりますが、私は自営業なので就職したことがありませんでしたが、昨年4月から小学校で語学支援員として働いております。

美里支部

事務局 末永 裕悦
(昭和52年卒・高29回)

平成31年1月25日、美里支部の新年会が盛大に開催されました。この日はセン



2020年から小学校の高学年の英語が正規の科目となるための準備のために大崎市教育委員会に雇っていただき小学校の英語の授業のお手伝いをしていきます。今年盛大に行われる、毎年盛んなに学校で仕事をしていると小崎の先生たちの苦労が実感できます。いくらかでもお役にたてればと頑張っております。
5月1日より年号が変わり令和となりました。古川高校三本木支部(ホーム会)の令和元年度総会は6月29日に予定しております。同窓会の支部として地元への活動や本部同窓会の活動へも積極的に参加協力し、地域の活性化に努めていきたいと考えております。古川高校も今年は築館高校との定期戦にも勝利したとのこと。在校生の益々の活躍も期待しております。
そして、今年美里支部設立55周年。記念事業として7月14日(日)午後2時、美里町近代文学館において講演会を開催する運びとなりました。講師には同窓生で元仙台市博物館長の佐藤憲一さんをお迎えし、「国づくりにかけた伊達政宗の夢」と題して講演をいただきます。地域貢献の一環として、一般の皆さんにも広く公開します。町外の同窓生の皆さんも、ぜひご来場ください。

入 試 合 格 状 況

平成31年3月卒業生の進路状況

	国公立大学	私立大学	国公立短大	私立短大	大学校	専修各種	就 職	受験準備	その他
合格者	74	334	4	3	0	高看 16	公務員 4	24	2
進学者	68	116	3	3	0	一般 16	民間 2		

1、国立大学合格者数

大 学	入試年度		31年度		現役	
	19					
	現役	過卒	男	女	男	女
帯 広 畜 産 大		1				
弘 前 大		1				
秋 田 大	2		1	1		
岩 手 大	14	1	9	5		
東 北 大	5	2	5			
宮 城 教 育 大	11	2	4	7		
山 形 大	9	4	8	1		
福 島 大	5		3	2		
茨 城 大	1		1			
筑 波 大	1		1			
埼 玉 大	1	1	1			
信 州 大	1		1			
静 岡 大	3		1			
鹿 屋 体 育 大	1		3			
国 立 大 合 計	54	11	38	16		

2、公立大学合格者数

大 学	入試年度		31年度		現役	
	19					
	現役	過卒	男	女	男	女
青 森 県 立 保 健 大	1		1			
秋 田 県 立 大	1			1		
岩 手 県 立 大	3			3		
宮 城 大	4	1		4		
会 津 大	1		1			
福 島 県 立 医 大	1			1		
茨 城 県 立 医 療 大	1			1		
高 崎 経 済 大	3	2	3			
群 馬 県 立 女 子 大	1			1		
長 野 大	1			1		
埼 玉 県 立 大	1		1			
都 留 文 科 大	2		1	1		
公 立 大 合 計	20	3	7	13		

国 公 立 大 合 計	31年度			
	現役	過卒	男	女
	74	15	45	29

3、私立大学合格者数

大 学	入試年度	31年度	
	19	現役	過卒
東 北 学 院 大	87	13	
東 北 工 業 大	18	3	
東 北 福 祉 大	40	5	
東 北 医 薬 大	4	1	
宮 城 学 院 女 子 大	41		
仙 台 白 百 合 女 子 大	11		
石 巻 専 修 大	9		
尚 綱 学 院 大	20		
東 北 芸 術 工 科 大	1		
国 際 医 療 福 祉 大	7		
神 田 外 語 大	2		
青 山 学 院 大	3		
北 里 大	1		
國 學 院 大			
駒 澤 大	1	1	
専 修 大		4	
中 央 大	4	1	
東 海 大	2	1	
東 京 農 業 大	2	5	
東 洋 大		3	
日 本 大	7	4	
法 政 大	1	5	
明 治 大	2	1	
東 京 理 科 大	3	1	
早 稲 田 大	2		
神 奈 川 大	2	1	
同 志 社 大	1		
そ の 他 の 大 学	63	12	
私 立 大 合 計	334	61	

今春卒業の71回生は男女共学12期生となります。男子が125名、女子113名で、男女の比率はほぼ同じ学年でした。文系クラスが126名、理系クラスが112名と、昨年に続き文系生徒の多い学年になりました。71回生は入学以来国語を得意とする生徒が多いものの英語・数学が苦手としていた学年でした。しかし、粘り強く学習に取り組んだ結果、徐々に力を伸ばし、国公立大学に74名の合格者を出すことができました。今年度の受験の特徴は、推薦・AO入試への積極的なチャレンジでした。センター試験を利用する推薦・AO入試を含め、国公立大学に54名出願し、23名が合格しました。また、東北地方にとどまらず北は北海道教育大学から南は鹿屋体育大学（鹿児島県）まで、全国の大学を受験しました。生徒たちが自分の学びたい分野を突き詰めた結果だと考えています。東北大学について

ではAOⅡで法学部1名、前期日程で文学部1名、理学部1名、工学部1名、医学部保健学科1名の5名が合格しました。また私立大学の難化が進む中で、早稲田大学に一般入試で合格しました。一方で、自分の目標を達成しようという道を選んだ24名の進学準備生徒を出す結果になりました。この中には東北大学ほか、東京工業大学や北海道大学、広島大学などに果敢にチャレンジした生徒や後期日程で国公立大学に合格したものの自分の目標を貫きたいと浪人を決めた生徒も含まれており、来春に捲土重来を期待したいと思っています。過卒生については、東北大学2名、山形大学4名など12名が国公立大学に合格し初志貫徹を果たしています。進学・就職した卒業生には古高での3年間で得た力を糧にして、人間としての成長を期待しています。

令和元年度
古川高等学校同窓会総会のご案内

■日時 令和元年8月11日(日)

■場所 グランド平成

大崎市古川駅前大通5丁目3-2
TEL 0229-23-6363

■日程

13:00～ 総 会 当番幹事 高25・高30・高35・
高40・高45・高50回生

14:40～ 講演会 「国づくりに懸けた伊達政宗の夢」
講師 佐藤 憲一氏 (昭和42年卒、高19回生)
元・仙台市博物館長

16:20～ 記念撮影

16:30～ 懇親会

■会費 4,000円 (懇親会代含む)